



心に届く旅

阪急交通社

Direct to your heart

News Release

2023年6月15日

HTRPR-23-010

第1回「JATA SDGs アワード」地球環境部門 「環境保全型トイレの寄贈」特別賞受賞

阪急交通社（大阪市北区梅田 代表取締役社長 酒井淳）は、第1回「JATA SDGs アワード」地球環境部門において、「環境保全型トイレの寄贈」が特別賞を受賞したことをお知らせします。

このアワードは、旅行業界における「持続可能な開発目標（SDGs）」達成に向けた取り組みの推進を目的とするもので、地球環境部門は海洋資源、森林資源、生物多様性および気候問題等における積極的な活動やイノベーションが対象となります。

当社の「環境保全型トイレ」の取り組みは、阪急阪神ホールディングスグループの社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の一環として行う環境保全活動です。世界自然遺産や国立公園を中心に、環境保全とオーバーユースの防止を考慮しながら、適正な環境で大自然をゆっくり観賞いただけるよう、地域の自治体の協力を得て推進してまいりました。2007年12月に初めて屋久島に「環境保全型トイレ」を設置して以来、熊野古道、知床、礼文島、小笠原諸島・父島、釧路に設置を行い、2023年6月の奄美大島・金作原で7例目となりました。



設置する「環境保全型トイレ」は、処理槽内の微生物の働きで分解・処理を行うもので、最終的には堆肥として資源化も可能となる環境に優しい機能を有しています。6月の奄美大島においては、ソーラーパネル併設型のバイオトイレの設置が実現しました。今回の受賞を契機として、地域の豊かな自然を守りながら、より一層訪問する方々に快適な環境を提供していけるように取り組みます。

阪急交通社は、日本の豊かな美しい自然を永く後世に残すために、これからも環境保全活動をはじめとする社会貢献活動を継続してまいります。

■該当するSDGグローバル指標



- 6.1、6.2 適切なトイレへのアクセス
- 6.3 適切な汚水処理



- 15.1 山地の持続可能な利用
- 15.4 山地生態系の保全

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL : 03-6745-7333 / FAX : 03-6745-7351
〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 TEL : 06-4795-5711 / FAX : 06-4795-5724

阪急交通社 環境保全型トイレ設置一覧

		時 期	場 所	地域の特徴
1		2007年 12月	鹿児島県 屋久島 旧小杉谷山荘跡地	1993年世界自然遺産に 登録
2		2009年 6月	和歌山県 熊野古道 水呑王子付近	2004年「紀伊山地の 霊場と参詣道」として 世界遺産に登録
3		2010年 7月	北海道 知床斜里町ウトロ	2005年世界自然遺産に 登録
4		2011年 6月	北海道 礼文島 礼文町	花の浮島と呼ばれ、約 300種類の高山植物の 自生地。「西部は利尻礼 文サロベツ国立公園の一 部」に指定されている。
5		2013年 3月	東京都 小笠原諸島・父島 夜明山付近	2011年小笠原諸島が 世界自然遺産に登録
6		2019年 12月	北海道 釧路湿原国立公園 遊歩道 サテライト 展望台	日本最大の湿原と壮大な 蛇行河川、それを育む森 から成り広大な景観で知 られ、「釧路湿原国立公 園」に指定されている。
7		2023年 6月	鹿児島県 奄美市金作原 奄美群島国立公園 第2種特別地域	2021年世界自然遺産に 登録

共催：阪急阪神ホールディングス（2009年熊野古道以降）